

一般社団法人日本環境化学会

平成24年度第二回理事会

日時：平成25年1月18日（金）午後16:00～16:30

場所：日本電子株式会社 筑波支店2階会議室

議案

- 1号議案 「2014 国際シンポジウム in タイ」開催の件
- 2号議案 役員推薦委員会メンバーの選出の件
- 3号議案 WET 部会講演会での名称使用承認の件

第1号議案

タイ国での国際環境化学シンポジウムの開催について

国際企画部会

1 目的

日本環境化学会は、アジアの微量有害物質問題の解決に向けて、環境化学討論会での国際セッション開催および中国や韓国における国際環境化学シンポジウムの開催を通してアジア諸国の研究者・技術者と交流を行ってきた。今回は、日本との関係が深いタイ国において国際環境化学シンポジウムを開催し、タイを初めとする東南アジア諸国の研究者・技術者との交流を深化・発展させることを目的とする。

2 開催時期

平成26年(2014年)秋、シンポジウム2日間 (シンポジウムの翌日観光ツアー)

3 開催場所

バンコク市内のホテル(例 The Sukosol Hotel Bangkok)または大学

4 主催：日本環境化学会，共催：タイ国環境研究研修センター(ERTC)， 後援：未定，協賛：未定

5 実施方法

- 参加人数：100人(日本人：40名，日本以外60名(含む招聘12名))
- 発表会場：2会場(口頭1会場，ポスターおよび企業展示1会場)なお，ERTCが別に1会場使用の可能性有り。
- 発表数96題(口頭36題，ポスター60題)

6 予算

- 予算案：添付資料参照(The Sukosol Hotel Bangkokでの例)

収入	支出
30,000US\$	30,000US\$

Income and expenditure plan of “International Symposium on Environmental Chemistry in Asia”

Number of participant: Max 100

Period of symposium: two days and one day for an optional tour (Autumn in 2014)

Venue: Hotel (five star?) in the center of Bangkok or University (or ERTC)

Income

Item	Contents	Income
Registration fee (Japanese)	300 US\$ x 40 person	12,000 US\$
Registration fee (Non-Japanese)	100 US\$ x 40 person	4,000 US\$
Registration fee** (Student)	20 US\$ x 20 persons	400 US\$
Exhibition	3,000 US\$ x 3 companies	9,000 US\$
Optional tour*		Separate account
Donation		α
Total		25,400 US\$ + α

** Students cannot attend a welcome party and a banquet.

Expenditure (eg. The Sukosol Hotel Bangkok) 1 Baht = 2.69 JY, 1 US\$ = 85 JY

Item	Contents	Expense
Registration space		-
Oral	One room Max 36 presentations (12 hr in 2 days), 20 min/presentation	80 - 100 persons, 8:00 - 17:00 2 coffee break & lunch: 1,200 Baht/person (3,228 JY) 645,600 JY (7,600 US\$) = 3,228 JY x 100 persons x 2 days
Poster and Exhibition space	One room Max 60 posters and max 5 companies	80,000 Baht/d (215,200 JY) 430,400 JY (5,100 US\$) = 215,200 JY x 2 days
Coffee break	4 times	Including room charge
Welcome party and Banquet	Welcome: Max 50 persons Banquet: Max 100 persons Only banquet is opened!	Banquet: 1,000 Baht/ person (2,690 JY) Beer: 7,000 Baht/barrel (18,830 JY) 290,520 JY (3,500 US\$) = 2,690 JY x 80 persons + 18,830 JY x 4 barrel
Abstract book	Max 220 pages x 300 books	3,000 US\$?
Interpreter if necessary	2 persons x 2 days	Do not use
Aid for participation	12 persons x 500 US\$	6,000 US\$
Labor costs	Before symposium {preparation} and the day of symposium	?
Others	PC, Projector, Microphone, Flower, Panel for poster, etc	Included in the room charge except for PC
Optional tour*	Max 30	Separate account
Total		25,200 US\$ + α

*Optional tour expense should be covered by participants of the tour.

第2号議案

役員推薦委員会メンバーの選出について

役員候補者選出規程にもとづき、「理事会で承認された理事5名からなる委員会で理事・監事の中央推薦を行う」(第3条2)役員推薦委員会のメンバーを選出いたします。

選任されたメンバーは互選により委員長を定め、役員選挙にともない役員推薦委員会を招集してください。推薦委員会用(様式3)の役員推薦書に必要事項を記入のうえ選挙管理委員会へ期日までに提出してください。

(資料) 役員候補者選出規程

第1条 理事及び監事の選出については、一般社団法人 日本環境化学会の定款に定めるほか、この規程による。

(役員の数)

第2条 理事の定数は、30人以内とする。

2 監事の定数は2人以内とする。

(役員推薦委員会)

第3条 理事及び監事の選出のために役員推薦委員会をおく。

2 役員推薦委員会は理事会で承認された理事5名からなる委員会で理事・監事の中央推薦を行う。

3 役員推薦委員会の任期は、2年とする。

4 役員推薦委員会は委員の互選により委員長を定める。

5 委員長は役員推薦委員会を招集し、その議長となる。

(役員推薦委員会の定足数)

第4条 役員推薦委員会は役員選出委員現在数の2分の1以上出席しなければ開催することができない。

(役員選出の告示)

第5条 会長は、役員選出の概ね2ヵ月前までに、次期役員選出の告示を行わなければならない。

(役員候補者)

第6条 正会員は、候補者受付期間中に3名の推薦者名を記入した役員立候補届(様式1)を選挙管理委員会へ届け出ることにより、自ら役員候補者となることができる。

2 正会員は、候補者受付期間中に役員推薦書(様式2)を選挙管理委員会へ届け出ることにより、会員である役員候補者を推薦することができる。但し、一正会員が推薦をする役員候補者は3名を限度とする。また推薦された会員は3枚の異なる推薦書をもって役員候補者となる。

- 3 役員推薦委員会は、候補者受付期間中に役員推薦書(様式3)を選挙管理委員会に届け出ることにより、本会の事業運営及び専門分野の調査等のために必要な役員候補者を推薦することができる。
- 4 理事候補者、監事候補者ならびに理事候補者を推薦する者は、当該年度の12月27日において、当該年度までの会費を納入していなければならない。

(選挙)

第7条 理事候補者を選挙により上位20名を選抜するものとする。

- 2 監事候補者が2名を超える場合、選挙により上位2名を選抜するものとする。
- 3 前二項の選挙は、投票によるものとし、当該投票に関する規程は、別に定める。
- 4 候補者の数が役員定数を超えない場合においては、投票を行うことなく、候補者を当選者とする。

(役員推薦委員会による推薦)

第8条 理事候補者は、10名を限度として、前二条とは別に理事の候補者として推薦(以下「推薦理事候補者」という。)することができる。

(総会への推挙)

第9条 会長は、理事候補者(第7条の選挙を行った場合は、同条により選抜された者。)、推薦理事候補者及び監事候補者を総会に推挙する。

(改廃)

第10条 本規程は理事会の議決により改定することができる。

附則 この規程は平成22年12月1日より施行する。
この改訂は平成23年4月19日より適用する。

役員推薦書 (推薦委員会用)

平成 年 月 日

候補者	ふりがな 氏名		生年月日 年齢	年 月 日 歳	役員の 種別	理事 / 監事 (どちらかに○)	
	勤務先	名称				役職名	
		所在地	〒			電話番号	
						FAX	
	自宅住所	〒			電話番号		
					FAX		
	会員番号		E-mail:				
	推薦の理由(活動実績、経歴、期待など)						

一般社団法人日本環境化学会
役員推薦委員会 委員長

宛先: 〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-18-3小川ビル3F
一般社団法人 日本環境化学会
選挙管理委員会
TEL:029-886-3185 FAX:029-886-3186
E-mail:office@j-ec.or.jp

第3号議案

WE T部会講演会での名称使用承認の件

WE T部会

WE T部会では平成24年3月10日と同年9月1日に講演会を開催しております。その際主催者名称として“一般社団法人日本環境化学会WE T研究懇話会”を使用しております。この過去2回の開催名称使用についてのみご承認いただきたく提案します。

尚、今後の同懇話会名称の取り扱いについては関係者で再度検討後、次回理事会で報告します。

参考) 幹事会規程第8条2項「重要事項は理事会に付議し承認を得る。なお、緊急を要する重要事項については会長及び副会長の了承を得て遂行し、次回理事会に報告して承認を得る。」

A. 第一回市民講演会

開催日時：2012年3月10日13時～17時

場所：明治大学駿河台キャンパスリバティータワー1階1101教室

内容：きれいな水を地球に戻そう”をテーマに，“きれいな水”であることを判断するための一つの“ものさし”となるWE T手法を市民に紹介することを目的とした。

内容は以下の通り。

講演1 水とは何か 北野大 明治大学（座長：山本裕史 徳島大学）

地球に存在する“水”の性質をやさしく解説した。

講演2 水生生物を守るために 須藤隆一 東北大学（座長：山本裕史 徳島大学）

環境と水に関する問題と関連する国内法規制についてやさしく解説した。

講演3 環境水と生物応答 鎌迫典久 国立環境研究所（座長：勝又政和 浜松ホトニクス）

環境にとっての“きれいな水”の概念と“環境生物を用いたものさし”を用いた評価方法についてやさしく解説した。

参加人数：115名

参加費：無料

その他：講演内容概要作成。明治大学理工学部学生ボランティア協力により運営

B. 第二回市民講演会

開催日時：2012年9月1日13時～17時

場所：神戸市臨床研究情報センター（公益財団法人先端医療振興財団）第1研修室

内容：第一回市民講演会と同様の内容を関西地区で開催。

参加人数：88名

参加費：無料

その他：講演要旨集（120部印刷）の作成。㈱神鋼環境ソリューションおよび徳島大学学生ボランティアの協力により運営。